

陳 情 文 書 表

受理番号	陳情 6 第 10 号	受理年月日	令和 6 年 5 月 8 日
件 名	全国から問題視されている目黒区美術館取り壊しについての陳情		

【陳情の趣旨】

1 目黒区美術館が目黒区民センター、公園、下目黒小学校との一体開発によって取り壊されようとしていることは、4月の目黒区長選の際に全国から問題視されています。ネットでの署名 (change.org) は 5,000 に迫ろうとしています。署名した人々は「美術館の建物を壊すとは愚挙である」「50メートルの新ビルはいらない」と声を揃えています。今や目黒区美術館問題は、目黒だけのものではなく、全国の人々の関心を集めているのです。

X (旧ツイッター) での閲覧数も 179 万を超えるなど、このような目黒区美術館を再開発と称して解体しないで下さい。

そもそも目黒区美術館は、時の目黒区長の塚本俊雄氏（自社公民）が 1987 年に次の目黒の世代のためにとの熱烈な理念で造ったものです。

2 目黒区美術館、区民センターを造った建築家は池田武邦（たけくに）という有名な建築家であり、現区役所を造った村野藤吾と並び評される方です。

たとえ 40 メートル近い高さでも、池田の建築は脇の道路から見ても圧迫感を感じさせないように造られています。広場を大きく取り、公園の緑も生かしているからです。そもそも建築家は美術館を設計するときに、100 年保つように心血を注いで造ると言っています。まさに目黒の至宝というべき美術館なのに、今後 30 年で 130 億円の維持管理費がかかるから解体すると目黒区が言っているのは受け入れることができません。新しいビルに美術館のスペースを取るから良いだろうと言うのは、全く意味を成さないのです。独立した建物としての美術館、展示スペースも、子どものためのワークショップ室も、区民ギャラリーも、ラウンジ（スーパー・ポテト社デザイン）もその美術館の建物にあるから意味があるのです。

3 目黒区美術館は目黒区だけのものではありません。全国のみんなのものです。つまり経済思想家の斎藤幸平氏の言うところのコモン（共同財産）なのです。そのコモンを守るためにには、目黒区議会の政治家の皆さんと私たち住民が手を結び協力しなくてはなりません。区に落ちるお金とか人が集まる賑わいには代えられない大切なコモンを共に守っていきましょう。この美術館の 37 年間の積み重ねてきた時間は何物にも代えられない価値のあるものです。そのコモンを次の世代にそのまま引き渡すのは私たちの責務です。

【陳情事項】

1 目黒区美術館の建物を解体すると言うことは全国から問題になっているの

で、考え方直して下さい。

2 池田武邦が設計建築した目黒の至宝とも言うべき美術館の建物を解体することはやめて下さい。

3 住民の意見も聞いて皆の共同財産、コモンである美術館を共に守りましょう。